

ニュージーランド キウイフルーツの記録的な収穫量を確信

[FreshFruitPortal](#) 2025年2月25日

ニュージーランドの2025年産キウイフルーツの収穫は、2月初旬に始まった。今年は、史上最も早い収穫開始と2億箱の大台を超える史上最大の収穫予測によって、生産者にとって歴史的な年とされている。

国内で最初に摘まれたキウイフルーツはゼスプリ・ルビーレッド品種で、2月上旬にベイオブプレンティ地方のエッジカンベ村の近くで収穫された。

この赤肉のキウイフルーツはニュージーランド国内のスーパーマーケットで販売されるが、一部は海外市場向けである。今後、ゴールド品種とグリーン品種のキウイフルーツの収穫がこれに続く。

この実り多い年は、主に高品質なキウイフルーツの栽培に理想的な良好な気象条件と、栽培面積の増加に帰することができる。ニュージーランド・キウイフルーツ生産者協会CEOのコリン・ボンド氏が、同協会の今シーズンの展望について [Freshfruitportal.com](#) (本サイト) に語った。

ボンド氏は、2024年は史上最高の1億9,300万箱を記録し、非常に好調だったと述べた。今年は、2億箱以上が見込まれている。(以下「」は同氏の話)

「重要なのは我々の栽培面積のヘクタール数であり、ニュージーランドでは過去数年間、着実に増加している。我々は過去3年間でより多くのゴールドキウイを植え、また赤肉系品種を商品化した。」

ボンド氏は、栽培面積の増加とレッドキウイの商品化に加えて、業界は素晴らしい生育期間を迎えていると述べた。「十分な冬の寒さと素晴らしい春を経験し、国内でいくつかの悪天候はあったものの全体としては素晴らしい生育期間であり、記録的な収穫量になると確信している。」

同氏は、サンゴールド・キウイフルーツ、すなわちゴールド品種は、過去10年間で最も大きな伸びを示しており、同協会は今年少なくとも1億9千万箱を見込んでいると言う。

ゴールド品種に続くのが、6千万箱を見込むグリーンキウイのヘイウッド品種であり、同氏は「我々の産業の基盤」と呼ぶ。そして最後になったが同じく重要なのは、過去3シーズン間に商品化された赤い品種のルビーレッドで、他の品種よりも早く成熟し、ニュージーランド産キウイフルーツのシーズン序盤を支えてきた。同協会では今シーズン、300万箱のルビーレッドを見込んでいる。

輸出

輸出に関してボンドは、ニュージーランド産キウイフルーツのほとんどが輸出されていると指摘した。「我々の果実の95%以上はニュージーランド国外に輸出されている。単に、我々が生産するキウイフルーツを食べるだけの人口基盤がニュージーランドにはない。さらに、我々の生産物には世界的に大きな需要がある。」

ニュージーランドは依然として世界最大のキウイフルーツ輸出国である。ニュージーランド統計局が発表したデータによると、2024年シーズンのキウイフルーツの輸出額は35億NZドルと評価され、2023年と比較して44%増に当たる10億ドル増加した。同国の果実のほとんどはアジア諸国と欧州連合に出荷されている。(1NZドル=約86円)

今年は業界にとって歴史的な年であるが、これがこの国の最後の歓声ではない。ボンド氏は、サンゴールド品種の生産を拡大するチャンスはまだ多くあり、ルビーレッド品種には将来のチャンスがあると述べている。

「今年は2億箱の記録を達成したいと考えているが、それが業界として樹立する最後の記録にはならないと確信している。」